

2011年夏 琵琶湖守山佐川美術館「セガンティーニ」展と

湖面に広がる蓮の花（草津水生植物公園）

2011.8.11.



琵琶湖東岸 守山なぎさ街道 佐川美術館・草津水生植物公園周辺

1. アルプスの画家 セガンティーニ — 光と山 — Giovanni Segantini — Light and Mountains —
  2. 佐川美術館の中にある 彫刻の佐藤忠良館 陶芸の楽吉左衛門館 日本画平山郁夫館
  3. 湖面に広がる満開の蓮の花（水生植物公園 蓮群生地）
- 参考 2008年の夏 スイスの旅より  
セガンティーニが住んだサンモリッツ周辺 & ツェルマツト周辺の山郷の風景



アルプスの画家  
**セガンティーニ — 光と山 —**  
Giovanni Segantini — Light and Mountains —  
2011年07月16日（土）～2011年08月21日（日）  
琵琶湖畔 守山市 佐川美術館



セガンティーニ展が開催中の琵琶湖湖岸 守山の佐川美術館



湖面を埋め尽くす蓮の群生地 琵琶湖 草津水生植物公園 水の森 2011.8.11.

セガンティーニの展覧会が琵琶湖湖岸にある佐川美術館でやっているのを NHK 日曜美術館の番組で知る。

「セガンティーニの絵は アルプスの山々を背景にそこに住む人の素朴な暮らしを描いた心地よい絵。

佐川美術館もゆっくり見学したいし、すぐ近くの守山水生植物園の蓮も満開のはず。是非行見にゆこう」  
 久し振りに家内と意見一致で 8月11日に琵琶湖守山へ出かけました。



守山 琵琶湖湖岸 緑と水に包まれた素晴らしい環境の佐川美術館 2011.8.11.



日本を代表する芸術家の展示館 彫刻の佐藤忠良館 陶芸の楽吉左衛門館 日本画平山郁夫館

セガンティーニ展をみにいった佐川美術館は 緑と水に包まれた美術館そのものが素晴らしい鑑賞の対象

日本を代表する彫刻の佐藤忠良館 陶芸の楽吉左衛門館 日本画平山郁夫館が併設され、常時それらの作品がみられるのも楽しみ

また、鳴門大塚美術館の実寸陶板画で見て、強く感動したことがあるセガンティーニの代表作アルプス三連作「運命 《生》《自然》《死》」は出展されていませんでしたが、有名な「アルプスの真昼」ほか、アルプスの自然のなかでのほのぼのとす暮らしの風景に気分爽快 気持ちのいい名画鑑賞でした。また、複製画ではよく判らなかつたセガンティーニの編み出した独特の描写法にもビックリしました。



セガンティーニの代表作 アルプス三連作「運命 《生》《自然》《死》」

アルプスの夕映えを描いた「生」、家路を急ぐ牛飼いを描いた「自然」、そして最後が野辺送りの光景を描いた「死」

佐川美術館が日本を代表する彫刻の佐藤忠良・陶芸の楽吉左衛門・日本画平山郁夫 それぞれの作品をあんなに数多く所蔵していて、素晴らしい環境のそれぞれの展示館でゆっくり見られるとは思ってもよらぬことでした。

佐川美術館が人気である理由もうなずける。お勧めです。

また、すぐ近くの琵琶湖湖面 草津水生植物公園蓮の群生地では湖面をピンクの蓮の花が埋めつくし、美しい夏の琵琶湖の光景。素晴らしい蓮群生の光景に出会えました。



蓮の花が湖面を埋め尽くす琵琶湖 草津水生植物公園 水の森 蓮の群生地 2011.8.11.

遠くに見えるのは近江富士(三上山)

ところで 「早朝 蓮が咲くときには『ポン』と音がすると聞いたことがあるのですが、本当でしょうか…」



1. アルプスの画家 セガンティーニ — 光と山 — Giovanni Segantini — Light and Mountains —
2. 佐川美術館の中にある 彫刻の佐藤忠良館 陶芸の楽吉左衛門館 日本画平山郁夫館
3. 湖面に広がる満開の蓮の花 (水生植物公園 蓮群生地)

参考 2008年の夏 スイスの旅より

セガンティーニが住んだサンモリッツ周辺 & ツェルマツト周辺の山郷の風景

アルプスの画家  
セガンティーニ — 光と山 —  
Giovanni Segantini — Light and Mountains —  
2011年07月16日(土) ~ 2011年08月21日(日)  
琵琶湖畔 守山市 佐川美術館



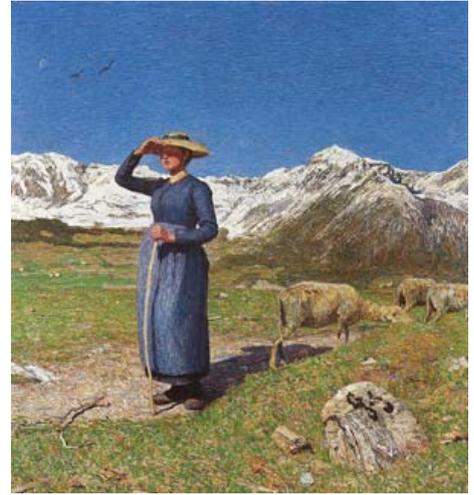
アルプスの画家

# セガンティーニ — 光と山 —

Giovanni Segantini —Light and Mountains—

2011年07月16日(土)～2011年08月21日(日)

琵琶湖畔 守山市 佐川美術館

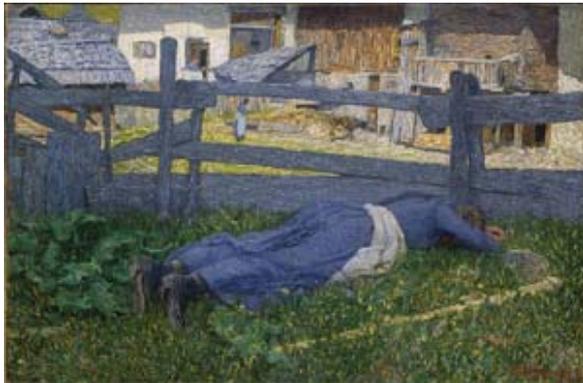


《アルプスの真昼》1891年

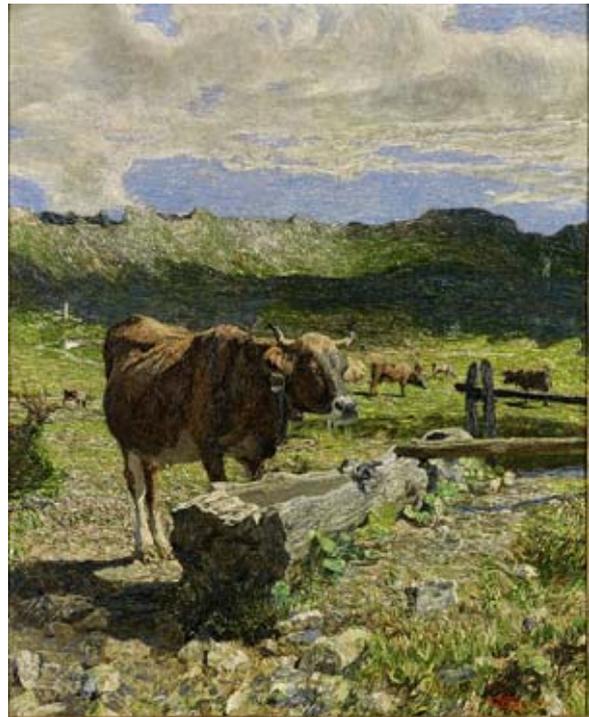
ジョヴァンニ・セガンティーニ（1858-99年）は、アルプスの山々に魅せられその風景を描き続けた画家。セガンティーニの描く明るく清澄な空気と素朴で美しい自然、またそのなかに住む実直な人々や動物たちは、見る人の心を清々しい気持ちにさせてくれる。（展覧会コピーより）



《羊の剪毛》1883-84年、



《日陰の憩い》1892年



《水を飲む茶色い雌牛》1892年、

佐川美術館 home page セガンティーニ展 紹介 Web より

今回 セガンティーニの代表作のアルプス三連作「運命 ‹生› ‹自然› ‹死›」は出展されていませんでしたが、この作品製作のための数々の習作や絵コンテなどが、1/4縮小の「運命 ‹生› ‹自然› ‹死›」コピーと解説と一緒に展示されていました。



セガンティーニの代表作 「アルプス三連作 ‹生› ‹自然› ‹死›」

セガンティーニが亡くなる寸前まで この作品に心血を注ぎ、《死》は本人の突然の死で未完となったため、彼が一体何を描きたかったのか… まだに多くの謎に満ちた作品としても有名。この代表作 製作の心理過程を推察する楽しみもありました。

以前 この作品展が展示されているスイスのセガンティーニ美術館展示をそのまま再現した鳴門大塚美術館 陶板画の実寸展示にすごく感激した経験があり、思い入れも強く、このアルプス三連作「運命 《生》《自然》《死》」製作の集積がみられてよかったです。

イタリア生まれのセガンティーニが、27歳の時に訪れ、その風景に惚れ込んで住み着いたアルプスの山と湖に囲まれたスイス屈指の高級リゾート地サンモリッツ周辺。

このサンモリッツの高台にアルプスを描いた絵の中でも最も美しいといわれるセガンティーニ（1858～1899）の作品23点を所蔵するセガンティーニ美術館がある。

この美術館の誇る代表作が2階の丸天井のドームを飾るアルプス三連作 アルプスの夕映えを描いた「生」、家路を急ぐ牛飼いを描いた「自然」、そして最後が野辺送りの光景を描いた「死」の「運命 《生》《自然》《死》」である。

最後の「死」はまだ明けきらない冬の朝、ソリに棺を積み込む人々。

その光景は死そのものだが、彼方の山を照らす光は生を表しているといわれる。

そして、残されたデッサンには天使と共に昇天する人の姿も描き込まれている。

また、この三連作に描き込まれた風景を実際に巡ることができる。

「生」 は最晩年を過ごしたソーリオの町から見た夕映えのアルプス。

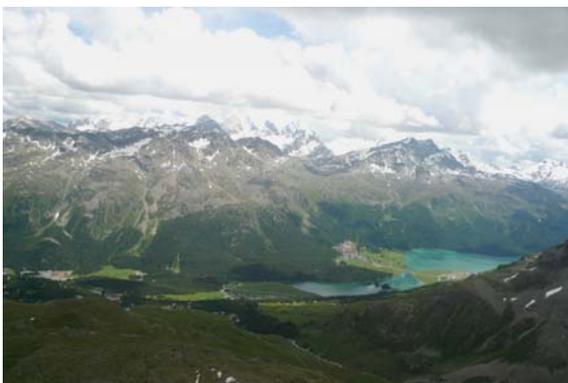
「自然」 はムオッタス・ムラーユ地区を歩けば描かれているとおりのパノラマが広がる。

「死」 に描かれた山はセガンティーニが晩年を過ごしたマローヤの村の彼方にそびえている。

三連作はパリ万博に出品するために制作されたものだったが、その願いを果たせなかったセガンティーニのために、友人たちが、彼の残したパピリオンのデザインを元に、突然の死から9年後の1908年、セガンティーニが最も愛したサンモリッツの地に美術館は開館した。

NHK 教育：「世界美術館紀行」 / 「アルプスの画家ここに眠る」 ～セガンティーニ美術館～ より抜き書き

[http://www.geocities.jp/polygon\\_nakano/LIBRARY/TempRec/02301-NK\\_museum.htm](http://www.geocities.jp/polygon_nakano/LIBRARY/TempRec/02301-NK_museum.htm)



スイスの山郷の景色 2008年夏 スイスの旅より

セガンティーニが住んだサンモリッツ & ツェルマット周辺の山郷の風景



佐川美術館 彫刻の佐藤忠良館 陶芸の楽吉左衛門館 日本画平山郁夫館



佐川美術館は 琵琶湖湖岸の緑と水に包まれた素晴らしい環境の広い敷地に 現代建築の粋を集めて建てられた美術館で、美術館そのものが素晴らしい鑑賞の対象。日本を代表する 3 人の作家の展示館 彫刻の佐藤忠良館 陶芸の楽吉左衛門館 日本画平山郁夫館が併設。テーマを決めて 所蔵品が公開展示されていました。

モダン軽快な佐藤忠良の女性像の数々。薄暗く統一された展示場に そつと一品づつ浮かび上がる楽吉左衛門の茶器そして、平山郁夫独特の「青」そしてシルクロードの作品群等々。こんなにゆっくりと鑑賞できるとは…。後は ロビーに座って 大きなガラス越しに吉良議やれる水面をみながら ティータイム。初めてで 本当にラッキーでした。お勧め。



追悼展 佐藤忠良—ブロンズの詩— 建物を取り囲む水面のあちこちにも佐藤忠良の作品



INSPIRATION 楽吉左衛門フランスでの作陶／茶碗



平山郁夫「文明の十字路口 シルクロードを辿る」の展示と特別な思いで描かれた「平和の祈り—サラエボ戦跡」

湖面に広がる満開の蓮の花 (水生植物公園 蓮群生地) 2011.8.11.



琵琶湖東岸 湖面を覆い尽くす蓮の花が満開の草津水生植物公園 蓮群生地 2011.8.11.



湖面を埋め尽くす蓮の群生地 琵琶湖 草津水生植物公園 水の森 2011. 8. 11.



## 参考 注記

セガンティーニの作品・佐川美術館の収蔵作品は 佐川美術館 home page ほかの web site から集め、転記させていただきました。

- 佐川美術館 home page <http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/cgi-bin/index.cgi>
- NHK 教育：「世界美術館紀行」 / 「アルプスの画家ここに眠る」 ～セガンティーニ美術館～  
[http://www.geocities.jp/polygon\\_nakano/LIBRARY/TempRec/02301-NK\\_museum.htm](http://www.geocities.jp/polygon_nakano/LIBRARY/TempRec/02301-NK_museum.htm)



サンモリッツの街 ピッツナイル展望台へのケーブルより

2008.6.30.

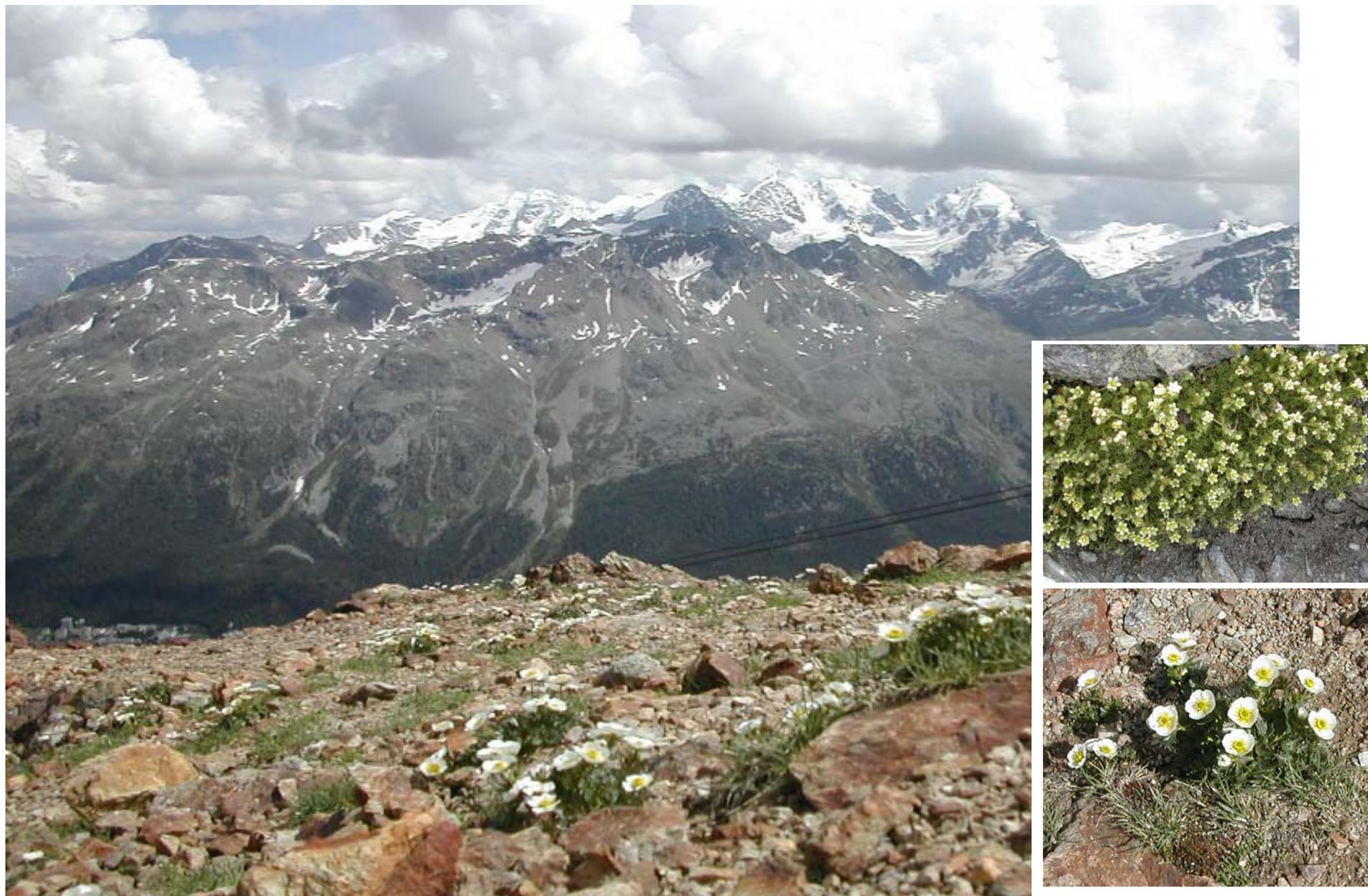


サンモリッツの街

2008.6.30.



ピッツ ナイル展望台から サンモリッツの谷・湖越しに眺めるアルプスの峰々【2】 2008.6.30.



ピッツ ナイル 頂上周辺のお花畑 2008. 6. 30.



ハイジ フラワートレイル 山のなだらかな斜面のお花畑 ハイジの小屋周辺 2008. 6. 30.



ハイジ フラワートレイル ハイジの小屋周辺のお花畑 2008. 6. 30.



ハイジの小屋がある丘周辺 2008. 6. 30.  
ピッツ ナイルへ登って行くケーブルのルートが奥に見える



フィンドルンの谷のお花畑 エッゲン集落周辺 2008. 7. 2.



フィンデルンの谷

放牧地が広がるエッゲン集落周辺 [1]

2008.7.2.



フィンデルンの谷

放牧地が広がるエッゲン集落周辺 [2]

2008. 7. 2.